

### 成果検証報告書

#### 【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和2年度

市町村名	蓮田市					
提案事業名	蓮田市が舞台の映画「あの日のオルガン」活用事業					
事業期間	平成31年度 ~ 令和元年度					
成果指標	(成果を検証する指標) 蓮田市が舞台となっている映画を観て、平和の大切さについて感じる事ができたと回答した児童・生徒の割合					
	(成果検証の具体的な方法) 小・中学校での上映会終了後にアンケート調査を実施する。					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	A B C
	従前値 (年月現在)	—	目標値 (上映会実施後)	90%	実績値 (令和2年3月時点)	100%
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)	稼働率 (%)	(目標) (実績)		
住民への公表状況 及び特記事項						

#### 【事業効果の整理・原因分析】

令和元年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 小・中学校における活用事業	○ △ ×	事前学習を行ったことにより、戦争に関する基礎知識を身に付け、「あの日のオルガン」の鑑賞を行ったことにより、理解度の向上を図った。さらに、事後指導を行ったことにより、平和の大切さの深化につながった。 上映会終了後、「平和の大切さ」について感じる事ができたかを挙手にて確認したところ、全員の手が挙がった。また、全児童・生徒が書いた感想文には、「平和の大切さ」に触れて書かれていた。
② PR活用事業	○ △ ×	特設展示コーナーの設置や広報紙への掲載、他の事業における上映会の開催等、あらゆる機会を活用して「あの日のオルガン」のPRを行った。 【実績】総合文化会館での試写会(H31.1.30)約600人、総合文化会館での上映会(R1.7.26~R1.7.29)4,122人、小・中学校での上映会4,240人、人間総合科学大学学園祭394人 計 約9,400人
③	○ △ ×	
④	○ △ ×	
⑤	○ △ ×	
⑥	○ △ ×	

## 【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	映画鑑賞だけでなく、事前学習、事後指導を実施したことにより、映画の中のシーンや戦争のことが子どもたちの中により強く印象付けられたことが感想文から読み取れる。
実施事業について 成果が不十分である点	特になし。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	全小・中学校での上映会は令和元年度限りの事業だが、一過性の事業にせず、令和2年度以降も事前学習で行った内容や作文集等を活用し、児童・生徒に平和に関して学習する機会を与えたいと考える。

(記入上の注意)

## 【成果指標の達成状況】

・達成度(A・B・C)の判断基準は次のとおりとする。

「達成度A」 目標値に対する実績値の伸び率が80%以上の場合

$$\text{実績値} \geq (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 80\% + \text{従前値}$$

「達成度B」 目標値に対する実績値の伸び率が60%以上80%未満の場合

$$(\text{目標値} - \text{従前値}) \times 60\% + \text{従前値} \leq \text{実績値} < (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 80\% + \text{従前値}$$

「達成度C」 目標値に対する実績値の伸び率が60%未満の場合

$$\text{実績値} < (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 60\% + \text{従前値}$$

## 【事業効果の整理・原因分析】

・事業効果(O・△・×)の判断基準は次のとおりとする。

「事業効果O」 事業効果の発現が十分に認められる

「事業効果△」 事業効果の発現が多少認められるが、不十分な点がある

「事業効果×」 事業効果の発現がほとんど認められない